

第83回全国高校サッカー選手権大会三重県大会 決勝戦

日時	2004,11,14(Sun) 14:05	形式	80分：20分延長：PK	会場名	鈴鹿スポーツガーデンメイン			
天候	曇り	気温	湿度	%	風	無風	ピッチ状態	観衆数
Match-Commissioner	泰羅 修	A-Ref1	和田 篤典	4th-Re	原 泰孝	芝	良好	人
Referee	間島 宗一	A-Ref2	上田 元大	Record	津工業	表	乾燥	

津工業	1	1	s t	1	1	四日市中央工業
	0	2	n d	0		
	0	EX1th		0		
	0	EX2nd		0		
Kick off		PK		x x		Kick off

Change		Shoot				Tot	PLAYER	No.	Posi	No.	PLAYER	Tot	Shoot				Change	
Tim	Name	EX2	EX1	2nd	1th								1th	2nd	EX1	EX2	Name	Tim
						0	扇本 雅史	1	GK	GK	1	古畑 浩生	0					
						0	野垣内 俊	2	DF	DF	4	中川 裕平	0					
					1	1	山田 慎二	3	DF	DF	19	藤澤 昌俊	0					
					1	1	大谷 勇介	5	DF	DF	20	西井 光	0					
						0	杉本 恭彦	13	DF	DF	25	中森 裕紀	0					
						0	大平 翔太	6	MF	MF	6	池田 知也	0	1			24隅内	62
					1	1	中村 竜二	7	MF	MF	7	高石 翔太	0					
		1		3	2	6	岩崎 陽平	8	MF	MF	10	中林 大	1	1	2			
40	梅原				1	1	加藤 祐也	12	MF	MF	18	上村 亮	1	1			高原	47
					1	1	鈴木 康平	10	FW	FW	2	坂井 将吾	2	2	3		1	
90	伊藤		1	1	2	4	菊地 光輔	11	FW	FW	17	南川 貴大	1	1	2			
						0	森田 賢	17			21	水谷 允俊	0					
						0	岩口 洋士	4			3	大塚 雅仁	0					
						0	前田 辰也	15			5	東 亮次	0					
						0	小川 卓哉	25			22	福田 晃司	0					
					1	1	梅原 拓也	9			8	高原 慎	0					
						0	岡野 新司	14			13	馬場 恭佑	0					
						0	伊藤 竜徳	19			24	隅内 勝起	1		1	1		
						0	青木 朱宏	20			14	鳴海 貴仁	0					
						0	坂井 哉太	23			23	近藤 周平	0					

警告・退場					監督					監督					警告・退場					
Tim	R/Y	No.	Name	Reason	藤田 一豊					樋口 士郎					Tim	R/Y	No.	Name	Reason	
88	Y		大谷勇介	繰り返し	EX2	EX1	2nd	1th	Team-Total	1st	2nd	EX1	EX2	45	Y		坂井将吾	ラフプレー		
					1	1	9	5	16	Shoot	16	5	9	1	1	86	Y		高石翔太	繰り返し
					5	0	2	1	8	G K	4	3	0	1	0	95	Y		南川貴大	繰り返し
					0	0	2	2	4	C K	4	1	2	0	1					
					4	3	9	5	21	直接FC	13	2	3	4	4					
					0	0	0	0	0	間接FC	6	4	1	1	0					
					0	0	0	0	0	PK	0	0	0	0	0					

Tim	得点チーム	No.	得点者	スコア	得点経過	記録例：~ドリブル	パス	浮き球	x混戦	Sシュート	Hヘディング
7	津工業		菊地 光輔	1 - 0	大谷	鈴木		菊地		加藤	菊地HS
38	四中工		中林 大	1 - 1	高石	南川		中林	S		

【戦評】 記入者： 松崎 隆尚

所属： 三重県立上野高等学校

共に4 - 4 - 2の布陣。津工は立ち上がりから四中工FWへの厳しいプレスにより、起点を作らせない。そして、奪ったボールを素早くオープンへ展開し、両サイド 岩崎・鈴木を起点にスペースを突く。一方、四中工は、前線に張った両サイドとFWをつかまえきれず苦戦していたが、MF 中林・高石の変化に富む動きにより、次第に流れを引き寄せ。後半、互いに中盤のチェックを強化し、選手交代により新たな活路を見出そうとするが、一進一退の攻防により延長戦へと突入。四中工は津工業DFの中盤への不用意なパスカットからチャンスを作るが、ラストパスに精度を欠きPK戦。結局粘り強く闘った津工業に軍配が上がった。